

私たちの活動や意見を仲間で共有します。  
会費は県と日本平和委員会の活動も支えます。

# 土浦平和の会ニュース

2019年4月15日 第326号

発行：土浦平和の会

事務局：土浦市烏山2-530-296

HP：//heiwatutiura.web.fc2.com/

## 史上最高額の軍事予算で・・・

# 爆買い・欠陥兵器で次々事故発生！

## オスプレイ緊急着陸で民間空港滑走路閉鎖 F35ステルス戦闘機が墜落

4日1日午後、大阪空港に沖縄・普天間基地所属の米軍輸送機MV22オスプレイ1機が緊急着陸した。これに伴い二つある滑走路が着陸の前後20分ほど閉鎖された。（右下に関連記事）

平和かわら版(平和新聞茨城版No.834)は本年1月22日、茨城県北でもオスプレイの飛来が確認されたと報じ、事故は決して他人事ではない。

続いて9日には、航空自衛隊三沢基地(青森県)所属の最新鋭ステルス戦闘機F35Aが墜落した。防衛省は墜落機が過去に2度、不具合で緊急着陸していたことを明らかにした。

### ステルス機F35の欠陥、フル生産前に改善必要 米政府監査院が国防総省に勧告

報道によれば、次世代ステルス戦闘機F35の重大な欠陥の修正をフル生産開始の決定後まで先送りする米国防総省の方針について、政府監査院(GAO)はこの計画の担当部署を批判した、とされている。GAOの年次報告書によると、F35には「未解決の欠陥」が966件ある。このうち少なくとも180件は国防総省の現行計画では「フル生産前に解決されない」見通しとされている。



F35Aステルス戦闘機



大阪空港に緊急着陸したオスプレイ

アメリカの高価な兵器を“爆買い”する安倍政権が、こうした欠陥輸送機・戦闘機を闇雲に買い続けることなど許されない。

日本平和委員会が抗議・要請

### 大阪空港へのMV22オスプレイ緊急着陸に抗議し、すべてのオスプレイの飛行中止と撤去を求める

安倍晋三内閣総理大臣、岩屋毅防衛大臣殿

(要旨)

普天間基地所属のMV22オスプレイは、2016年末以来だけでも、2回の墜落と8回の緊急着陸を発生させている。最近では、3月27日に沖永良部空港(鹿児島県)に緊急着陸したのに続く異常事態である。さらに、東京・横田基地に配備された特殊作戦用CV22オスプレイも、昨年6月に奄美空港に緊急着陸している。MV22オスプレイの10万飛行時間当たりの「クラスA」事故率は、配備時に「時間がたてば必ず減少する」と言っていたのとは裏腹に、2013年の1.75から2017年9月の3.24に倍増している。もはやその危険性は誰の目にも明らかである。普天間基地のMV22オスプレイも、米空軍横田基地の特殊作戦用CV22オスプレイも、ただちに飛行中止し、撤去することを強く要求する。(4月2日 日本平和委員会)

## 原発県民投票の実施をめざして

# 原発の現状・県民投票の意義を学ぶ

県平和委員会・土浦平和の会、成功への取り組みを確認

東海第2原発をめぐる、「いばらき原発県民投票の会」は再稼働の賛否を問う県民投票の実施をめざすと記者発表しました。

県平和委員会は県民投票の成功に向けた取り組みをすでに呼びかけています。

土浦平和の会理事会は、①東海第2原発の現状や国の原子力行政との関係などを学ぶための大小の学習の場をもうける、②学習の場で県民投票のしくみや意義についても理解を深めていく、ことを申し合わせました。

いばらき原発県民投票の会では、県民投票に向けての学習会として、今年の9月末までに全44市町村で「県民投票Café」を開催します。

【土浦市では】

5月12日(日)14:00～

県南生涯学習センター  
小講堂1

予約不要・参加費無料  
お気軽にご参加ください

いかそう憲法の力  
2019  
憲法フェスティバル

5月3日(憲法記念日)

10:30～15:30

水戸市千波公園  
はなみずき広場

【記念講演】

13:00～

リラン・バクレー監督

「20XX年憲法が  
変えられた日本」

【ステージ】12:00～  
水戸工業高校ジャズバンド  
水戸藩YOSAKOI連

### 3000万人署名 土浦憲法共同センターの統一行動

- 1月行動 23日(水)土浦駅頭宣伝・署名行動
- 2月行動 21日(水)土浦駅頭宣伝・署名行動
- 3月行動 20日(水)土浦駅頭宣伝・署名行動
- 4月行動 25日(水)午後3:00~4:00  
土浦駅頭宣伝・署名行動



☆本号がお手元に届くのは4月行動終了後かも知れませんが、今後も続きますのでよろしくお祈りします。

### 「地域医療を考える学習講演会」

本田宏先生(外科医、著書多数)講演

社会保障と医療現場の実態~これからの安心できる地域医療のために~住民運動の役割

日時：4月27日(土)

開会13:30~15:30

会場：7-ケル土浦

主催：地域医療を考える住民ネット  
後援：土浦市



この日、つくばのメーデー集会もあります。午前はメーデー、午後は講演会へ是非。

### 辺野古新基地ノ一、普天間基地撤去 4/8付全国紙に全面意見広告

4月8日付全国紙に「辺野古新基地は中止、普天間基地は撤去を」の全面意見広告が掲載された。

これは、全労連、安保破棄中央実行委員会、沖縄県統一連などが呼びかけたもの。2月の沖縄県民投票で示された43万票の「辺野古NO」の民意を示し、「この国に民主主義はあるのか」を鋭く問いかけている。



3月24日、県平和委員会主催の「活動交流集会」が水戸市で開かれた。全県から14の会が、土浦平和の会からは2名が参加した。午前中は、東海第二原発に対する県民投票について報告があった。午後は二つに分かれて日常活動の取り組み、組織強化と仲間づくりについて報告と交流があった。

労働組合の運動が弱まっている中で「市民の会」の3000万署名などの活動が頼りにされている。運動の市との関係が注目される。戦争展を市の文化祭実行委員会に参加する中で図書館のギャラリーで開くなどの経験が

報告された。平和行進に市の職員が総出で対応している例もあった。いくつかの会では学習会に力を入れている。そこでは、市の出前講座などを利用し、講師料は無料である。自治体の長との懇談では、自衛隊適齢者の青年の情報を提供する問題などを申し入れている。「福島」を風化させない等、会としてツアーも盛んである。仲間づくりとして、学習を通じて「育てる、種をまく」意識が大事である。

土浦では4月の市議選、7月の参議院選と重要な選挙が続きます。高い国民健康保険税の連続した値上げは許せません。土浦では1年早めて昨年から引き上げました。本当に庶民いじめの提案に賛同した議員(共産党の2議員以外)の「気が知れませんか」。また、10月から消費税を10%に引き上げるのも、庶民の懐具合を

こうして相次ぐ増税をしながら、軍事費は5兆円を超えてしまいました。海外で戦争のできる国づくりに邁進しているのです。選挙では「大砲かバターか」をみんな考えていきましょう。

### 学習を通じて仲間づくりを 大砲かバターかを考える選挙

春の活動交流集会に参加して

岡田安正(土浦平和の会代表理事)

(参考)「大砲かバター」というスローガンは、第2次世界大戦後、福祉国家の道を歩み始めたイギリスが、東西対立の激化の中で「バター」(福祉)を削減し、「大砲」(軍備拡大)政策に転じたことに対する国民の抵抗運動の中で使われるようになりました。日本もかつて1973年は福祉元年と呼んだ年もありました。今は見るからに変わり果てた軍事拡大路線です。反核・反原発・社会保障充実の道こそ地域経済活性化の道だと言いたい。



【平和の会へのおさそいを。「平和新聞」購読も広げましょう】

- 幅広い年代からの加入を勧めましょう。ご家族・ご近所・友人・知人などにお声かけを
- 「平和新聞」(毎月5、15、25日発行)月額400円